



今回は、ベトナム研修5日間の参加記録です。

◇ ベトナム研修で、ハノイ、フエ、ダナン、ホイアンの各都市を訪問しました

日時： 令和2年1月20日(月)～25日(土) 参加者： 希望生徒22名、引率教員3名
訪問先： JICAベトナム事務所、フエ大学、フエ王宮・ホイアンの町並み、グハンソン地区病院など

◇ 2日目（1月21日） JICAベトナム事務所訪問

- ハノイ市内で、JICA（国際協力機構）ベトナム事務局を訪問しました。
- 第一線で日本による支援事業に携わる方々から、貴重なお話をうかがいました。JICAの担当者、宮本亘さんから、ベトナムで行われているJICAの活動についての説明を受け、その後の質疑応答では、なぜ海外で働こうと思ったのか、そのために今何をすべきなのかなど、生徒たちが活発に質問を投げかけていました。
- 午後は世界遺産のタンロン城を見学しました。



◇ 3日目（1月22日）フエ大学訪問と世界遺産見学



- ハノイから古都フエに移動し、国立フエ大学観光学部を訪問しました。関高校による訪問は昨年に引き続き3回目です。岐阜県とトゥアティエン・フエ省とは友好提携関係にあります。関高校の訪問も提携事業の一環です。
- フエ大学観光学部では、たがいに英語口頭プレゼンを行ったあとに、シャインカービングのワークショップを行いました。ファンボイチャウ高校でも行ったこの試みは、ビジネスと社会貢献の両立を図る「せきの未来・社会貢献プロジェクト」の一環として行っています。
- お昼をはさんで午後は、フエ大学の学生さんの案内で、世界文化遺産フエ王宮、カイディエン廟、ティエンムー寺院を見学しました。19世紀に建設された王宮や皇帝の霊廟、荘厳な寺院など様々な文化遺産に関し、学生より熱のこもった説明がありました。質疑応答はむしろのこと、自分たちの日常生活や将来の夢などについて話が弾み、予定された見学時間を大幅に超えました。
- 現在、岐阜県とトゥアティエン・フエ省は、フエ王宮の観光振興のためのワーキングチームを立ち上げました。私たち関高校も、高校生目線の観光提案をワーキングチームに提出する予定です。

◇ 4日目（1月23日） ホイアン市内観光



- フェからホイアンまでは自動車ですら3時間ほど。東海岸を一気に南下しました。海岸沿いの田園地帯や漁村の光景は多様で、見飽きることはありませんでした。
- 世界文化遺産ホイアンは、かつて日本町のあった場所で、風情ある街並みが残されています。海のシルクロード博物館や福建会館などの史跡を訪ね歩きました。
- 現在、ホイアンの古民家はみやげ物店や飲食店として利用されています。1年生のSGH活動で学ぶ街づくりを考える上で、大いに参考になりました。

◇ 5日目（1月24日） 農業体験、グハンソン地区病院訪問



- 最終日5日目は、中部の観光都市ダナンで活動しました。
- 午前中は、ベトナムの伝統的な農法を守っているチャークェ村に移動し、お椀ボート体験や、伝統農法の体験を行いました。
- 午後は中部学院大学JICA草の根事業が行われているグハンソン地区病院の見学を行いました。
- 外科部長自らが病院内の施設案内をしてくださり、日本とは異なるベトナムの病院の実情を知ることが出来ました。
- その後の日本人職員の方との交流会では、ベトナムの医療・社会の現状を教えていただいただけではなく、医療の現場で働く上での心構えなどを伝えていただきました。

◇ 生徒の感想

- ベトナム研修を通してベトナムの文化と日本の文化の違いを感じた。フェ大学の訪問では、大学生と英会話をして、多言語でコミュニケーションをとることの難しさと楽しさを感じることが出来た。
- 私は、初めての海外で、行くまでは不安がとても大きかったです。でも、実際ベトナムで慣習が始まると自分たちを温かく迎え入れてくださりました。私が一番心に残っていることはフェ大学の学生さんと交流したことです。日本の文化を英語でプレゼンしたときに熱心に話を

聴く姿や、シャインカービングを教えるときも簡単な英語で楽しく会話しながら進めることができ写真を取って本当に楽しかったし、英語の発音も耳にすごく残りました。農業体験も水牛に乗ったことも、ベトナムを感じた時間になりました。

- 異なる文化に触れられたことが、ベトナム研修での一番の収穫だったと思う。日本語どころか英語さえも通じないことも多く不安だったが、文法を考えるのではなく伝えようと努めることがコミュニケーションとして一番大切だと分かった。普段の生活ではありえない文化や、交通面の違いも楽しむことが出来たのが良かったし、とても貴重な経験となった。
- 現地での交流だけでなく、今まで話したことの無い人や先輩と話すことが出来て、会話の幅が広がったので良かったです。
- 初めての海外だったこともあり、研修前は不安でいっぱいでしたが、学校全体で行ったということもあり、とても楽しい研修になりました。英語が一番苦手な私でもすごく楽しめました。ホイアンでの夜景やお椀ボート体験に、フエの観光など刺激になることばかりでとてもいい経験になったと思います。
- 日本国外に始めていく経験となったこの研修で、ベトナムの風習や食文化など日本では実際に体験することが難しいことを学べて貴重な体験でした。
- JICAの話聞いて日本とベトナムの関係が深いことが分かった。大学生との交流でうまく話せない部分もあったけど、楽しく普通の話が出来て良かった。
- フエ大学の学生さんとたくさん交流をして、日本とベトナムの文化の違いなども知って学ぶことが出来た。病院でも日本との違いを見つけて学ぶことが出来た。
- 私は初めて海外に行きました。最初に驚いたのは文化の違いです。日本では車が主流の交通手段ですが、ベトナムではバイクが主流で、さらに信号も少ないことで一日中クラクションが鳴りっぱなしでした。そのようなベトナムの鎬京全てが日本にないものばかりで、見るもの見るものに心を引き付けられました。笛の大学の方と交流したとき相手の方は英語がペラペラで私はあまり話せませんでした。英語は世界共通の言語ということを感じ、授業を頑張ろうと思いました。ベトナムに行ったことで自分の気持ちが前向きになり、もっと視野を広げていきたいと思いました。
- 私は特にフエ大学の学生の方との交流が印象に残っている。初めて日本語を全く話せない人と英語で話してすごく楽しくて、貴重な体験が出来たと思った。ご飯も美味しくてすごく楽しい一週間だった。
- ベトナムに行き、コミュニケーションの大切さを改めて認識した。英語の発音や単語が分からなくて戸惑ったこともあったが、自分の知っている単語やジェスチャーでコミュニケーションを取ろうとする姿勢焼き餅が大切だと思った。